

念ずれば花ひらく

荒尾市立荒尾第三中学校便り
令和4年1月17日(月)
第18号 文責:森川孝巳

「自立、そして自律」

今年の箱根駅伝は青山学院大学が圧倒的な強さで優勝しました。自校の持つ大会優勝記録も1分41秒短縮しました。原晋監督は優勝インタビューで「選手たちは、一人一人が『自立』し、自ら考え行動する習慣を身につけ、しっかりと取り組んだことで伸びていった。また、それだけでなく、自分を律するという『自律』もやってきた。箱根駅伝優勝という目標を立て、その目標を達成させるために、今、自分は何を我慢して、何をすべきか、常に今の自分と向き合って前に進もうとする姿勢ができあがった結果、優勝につながったと思う。」と話されました。

今、三中がやろうとしていることを、青山学院大学駅伝部の一人一人が実践し、結果を残してくれました。その結果は、皆さんにとっても、「やっていることは間違っていない！」と勇気をもらい、さらなるモチベーションにつながったことと思います。

一人一人が、『自立型人間』をめざして行動していくことで、夢や目標に近づいていくのです。2022年が、それぞれの夢や目標に向かって本気で取り組み、その夢や目標を叶えることができる素晴らしい年になるよう念じています。

〈今年の私の目標〉



「社会を明るくする運動」 熊本県作文コンテスト優秀賞 (ロアッソ熊本賞) 受賞!



熊本県下の中学生で
10作品しかない優秀
賞に選定されました。

1月7日に熊本市で
入賞者表彰式が行われ
ました。

3年2組 坂本美湖 「社会を明るく
するために～今自分にできること～」

3年生の頑張りに拍手!!

熊本県は「英語教育日本一」をめざして、3年生で英語検定3級以上の取得率33%という高い目標を設定しました。本校も目標値を超えられるように、英語科教員が中心になって3年生とともに、これまで取り組んできました。その結果、取得率が38%となり、県の目標値を大幅に超えることができました。素晴らしい頑張りを見せてくれました!

「24時間のデザイン力」を身につけよう!

先日、熊本県立大津高校が全国高校サッカー選手権大会で見事準優勝しました。宇城市の平岡和徳教育長が総監督です。1993年に大津高校に赴任し、サッカー一部の監督に就任されました。以来、生徒たちにずっと言い続けてこられたことが、一日の時間の使い方を自分で考えるという意味の「24時間のデザイン力」と目標を明確にし夢に向かって休まずチャレンジし続けるという意味の「年中夢求(むきゅう)」です。

平岡監督は、日本一になるためには、試合のどんな局面においても、自分で自分の心をコントロールする力とそれができる人間力が必要であると考えたそうです。さらに、挨拶の徹底や社会生活、学校生活のルールの厳守等、規則も徹底されています。

また、部活以外の時間を重要視し、早朝の自主練習や勉強・休養・お手伝いなどをどう一日の生活の中に割り振って実行していくのかを、自分で考えさせることによってサッカーだけでなく、自分で自分の心を育てさせているそうです。これは、大津高校だけでなく、全国大会で準優勝した鎮西高校バレ一部も同様です。つまり、今求められている人材は、夢や目標に向かって自ら考え行動する『自立型人間』なのです。